

反転授業とアクティブラーニングを 通じて考えられること

大学コンソーシアムあきたでは、県内で高等教育に携わる教職員の知識や意識の向上を目標に「高等教育セミナー」を実施しています。本年度は第3回目の開催です。

さて、現在教育現場では、学びの内容ばかりでなく「学び方」について諸々の検討がなされています。その新しい学び方の事例に「反転授業とアクティブラーニング」があります。

言葉の上では、理解出来ていても実施の段階になるとどう展開するか、事前準備はどうかなど様々な疑問がでてきます。こうしたことから本年度の研修は、その「学び方」を知るという視点にたち講演テーマを「反転授業とアクティブラーニングを通じて考えられること」としました。学生たちが主体的にそして協力しながら学ぶ方策について、研修が深まり今後その成果が反映されることが期待されるところで

●日 時

平成30年1月23日（火）

13:30～16:25 ※開場 13:00～

●プログラム

基調講演（13:35～15:05）

●会 場

カレッジプラザ

（秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階）

演題

【アクティブラーニング型の反転授業】
ー「わかったつもり」を「わかった」へー

●対 象

高等教育機関教職員

秋田県内高等学校関係者

講師：関西大学教育推進部

教授 森 朋子

質疑応答（15:05～15:20）

●参加費

無料

グループディスカッション

（15:30～16:00）

●申込受付

平成30年1月16日（火）17:00まで

【申し込み・問い合わせ先】

大学コンソーシアムあきた

平成29年度高等教育セミナー担当窓口

ノースアジア大学 教務学生課

TEL:018-836-4337

FAX:018-836-2485

E-mail: kyomu@nau.ac.jp

講師紹介

森 朋子 先生 (関西大学教育推進部 教授)



【経歴】ケルン大学哲学部Magister課程終了後、大阪大学言語文化研究科言語文化学
博士後期課程単位取得後退学。島根大学教育開発センター准教授などを経て現職。

【研究分野】学習研究・学習理論・教育方法学・学習心理学

【主な著書・論文】

- "The Flipped Classroom :An Instructional Framework for Promotion of Active Learning"
Deep Active Learning. Springer,2017(松下佳代編)
- 『アクティブラーニング型授業としての反転授業—理論編—』『アクティブラーニング型授業としての反転授業—実施編—』,
ナカニシヤ出版 2017.05,(溝上慎一と共編者)
- 「アクティブラーニングを深める反転授業」『アクティブラーニングの技術・授業デザイン』,東信堂 2016.03,pp.168-180
(安永悟・関田一彦・水野正朗編)
- 「初年次セミナー導入時の授業デザイン」『初年次教育の現状と未来』,世界思想社
2013.01,pp159-173(初年次教育学会編)
- 「質的データから見るアクティブラーニングの効果」『大学教育学会誌』,第39号,2017(単著)
- 「反転授業における予習の仕方とアクティブラーニングの関連」『日本教育工学会誌』,第40
巻,2016.09,pp.161-164(三保紀裕,本田周二,溝上慎一と共著)

会場地図

カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階)



自家用車でお越しの際は、
カレッジプラザの駐車場が
ご利用いただけます。
※車高1.5m以上の車は利用
できません。
※満車で入庫できない場合
もございますので、その際
は近隣の有料駐車場をご利
用ください。

申込方法

平成30年1月16日(火) 17:00までに、下記の事項を

FAXまたはE-mailで お知らせください。

●FAX : 018-836-2485 ●E-mail : kyomu@nau.ac.jp

大学コンソーシアムあきた高等教育セミナー参加申込書

氏 名	
所属機関・役職	
連 絡 先	TEL : E-mail :
グループディスカッションに参加希望 する ・ しない	